

遺品整理

布宮慈子^{やすこ}

疫病と寒暑を避けて母の家の遺品整理はいまだ進まず

形見分けせむとて二人の叔母呼べば一人のマスクいやに分厚い

これ以後はわれ一人にて片づけむ写真の母はふつくらとして

香港に行つたといふはまことなり母の赤きパスポート出で来^く

香港へ社員旅行とて行きたるはバブルのころか中年の母

友人と母はツアーに参加して秩父三十四箇所札所を巡りき

山形ゆ埼玉秩父の札所へとタクシーで行く企画はありき

川下り楽しさうなり長瀬の岩のあひだの母たちの舟

離^{さか}り住むころは知らざる好物の赤飯供ふ遺影の前に

空間のあれば物あり田舎家に付きゐる小屋は魑魅魍魎ぞ